第３回　大阪港ベイエリアに関する意見交換会　結果概要

日　　時：平成30年10月29日（月）15:00～17:25

　場　　所：咲洲庁舎41階　共用会議室⑤

　 出席団体：アジア太平洋トレードセンター株式会社、星野リゾート・リート投資法人、

ハイアットリージェンシー大阪、一般財団法人大阪国際経済振興センター、

クインテッサホテル大阪ベイ、合同会社ユー・エス・ジェイ、株式会社ジオ・アカマツ、

ホテル ユニバーサル ポート、大阪ベイタワー、泉陽興業株式会社、ファナック株式会社大阪支店、北港観光バス株式会社、株式会社キャプテンライン、ロッジ舞洲、

デロイトトーマツコンサルティング合同会社、

大阪水上バス株式会社（書面による出席）、ミズノ株式会社（書面による出席）、

伊藤忠商事株式会社（書面による出席）、株式会社近畿大阪銀行（書面による出席）、

株式会社野村総合研究所（書面による出席）、日立造船株式会社（書面による出席）、

大阪府住宅まちづくり部、都市整備部　大阪市都市計画局、経済戦略局、港湾局　　　（順不同）

1. **エリア内の活性化に向けた組織のあり方について（事例紹介等）**

エリア内の活性化に向けた組織のあり方について、事例紹介等をいただき、意見交換を行った。

＜事例紹介等＞

・おもてなしプラットフォーム事業について

・大阪市版TID制度について　　　・BID制度・エリアマネジメントの取組みについて

・広域連携型まちづくりの取組みについて

＜出席者の主な意見＞

○エリア内において、観光客向けのシステム等があれば、活用してはどうか。

○エリア内において、BID制度などを活用できないか、考えていきたい。

1. **物流機能との共存について**

出席者より、主に以下の意見が出された。

○物流は港湾を支え必要なものであるが、トラックが待機できる場所なども必要。

○咲洲等では物流施設・集客施設・住宅が混在し、特に大型イベント時には渋滞が起きることもある。駐車場等確保のための議論や、利用可能な空地の情報共有をしてはどうか。

○夢洲では、ＩＲ等が来るとさらに交通も増えるので、計画的な整備が行われることを期待する。

○主に通学路対策として、コスモスクエア地区のデッキ整備を進め、歩行者と分離することが必要。

○乗用車による渋滞や駐車場不足については、パークアンドライドや自転車を活用してみては。

○送迎バスのルートなどトレーラーの少ない道路を選んでいるが、もう少しルールの徹底化など物流とのすみわけが必要では。

○ＩｏＴなどテクノロジーを使い実験するなど、皆が集まって知恵を絞ってはどうか。

○景観的な配慮からのアイデアとして、コンテナをラッピングする等の見た目に楽しめる方向にすることや、施設のライトアップ等はどうか。

1. **その他**

○本年の地震や台風等の災害を踏まえ、安全確保計画の取り組み状況の報告や、災害時の課題・事前の準備の必要性などに関する意見があった。

○エリアの回遊性向上について、シェアサイクルの取り組み状況の報告があった。